

2011年度「甲南大学経済学会 学生懸賞論文」審査結果報告

厳正な審査の結果、「2011年度 甲南大学経済学会 学生懸賞論文」について、以下のように決定しましたことを報告いたします。(学籍番号順)

【特賞】

該当論文なし

【佳作】

10831141 後藤 朋子 (柘植ゼミナール)
「大学生はボランティアをどのように捉えているのか
ーアンケートによる実態調査を通してー」

10831321 宮本 舞 (柘植ゼミナール)
「再生可能エネルギー普及促進に向けた政策に関する経済学的研究」

上記の受賞論文の他、以下の論文を『経済学 学生論集』に掲載いたします。

10831032 伊丹 智美 (永廣ゼミナール)
「これからの損害保険業界 ～自由化と東日本大震災からの変化～」

10831036 伊藤 真弘 (杉村ゼミナール)
「高速道路無料化は実施すべきであったのか
～料金体系のあるべき姿とは～」

10831249 野村 亮輔 (藤本ゼミナール)
「日本の原子力政策」

10831310 三原 由利菜 (寺尾ゼミナール)
「少子高齢社会における鉄道の課題」

受賞者・掲載者の表彰式（ならびに発表会）は、以下の通り行います。

日時 : 2012年3月8日(木) 15:30～

場所 : 10号館 1階 1014教室

なお、今回の懸賞論文応募者全員に審査員の審査コメントをお渡ししますので、コモンルームにお立ち寄り下さい。特に、受賞者・掲載者の方には、今後のスケジュールを記した通知書も同時にお渡ししますので、必ずお立ち寄り下さい。

以上